

平成二十一年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十一年二月一日～平成二十一年四月末

投句数 一、五二十句

特選三句

天

参拝を終え花人となりにつけり

神奈川県平塚市 小野寺信雄

地

夜の更くる程に妖しき桜かな

東京都練馬区 勝田剛史

人

句心も遊び心も花の中

埼玉県北葛飾郡 山崎マサ子

入選句

一般の部

春風が心地良い日の散歩道

神奈川県横浜市戸塚区

浅井江理子

頼もしや乙女の仕切る花見会

東京都杉並区

稲垣克巳

段葛客待ち車夫と春惜しむ

神奈川県鎌倉市

江口守雄

塵ひとつなき建長寺桜舞ふ

埼玉県行田市

大竹祐子

新緑の木々の狭間の古刹かな

東京都練馬区

尾上さち子

春立ちて海きらきらと由比ガ浜

神奈川県横須賀市

笠井邦江

初蝶に案内されもし虚子墓前

北海道札幌市

片倉テル子

堂渡る風音ばかり実朝忌

神奈川県横浜市戸塚区

佐々木一義

一条の日矢に浮かびし蜆舟

神奈川県横浜市港南区

雑賀義久

海光や風まかせなる春の鳶

神奈川県横浜市港南区

鈴木美恵子

正座して聴くうぐひすや古都の風

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

梅東風の天神に絵馬溢れけり

神奈川県横浜市栄区

野勢泰弘

川風に向ひ柳の芽吹きかな

千葉県船橋市

前原慶輔

花冷えや総門に寄す人力車

神奈川県横浜市港南区

槇勝

観世音緋寒櫻に守られて

神奈川県横須賀市

松尾裕夫

早咲きの桜卒寿の腰延ばす

神奈川県横浜市戸塚区

宮地静雄

天井画の竜の眼や春寒し

大阪府泉南郡

森脇久子

鎌倉の春は名ばかり水無瀬川

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

神域のみ空へどっと年の豆

神奈川県横浜市栄区

山田知沙子

初蝶や婚儀の列の段葛

神奈川県鎌倉市

山本亮

(順不同)

入選句

子供の部

ホーホケキヨきれいに鳴くようぐいすが

東京都渋谷区

鶴島滉太

えんかくじまださかぬかなうめのはな

東京都大田区

崎田裕介

はるのうみさんさんとふるひのひかり

東京都福生市

榎 洸介

山の上桜一りんぼくをまつ

千葉県船橋市

新坂拓人

はるかぜにふかれあるいたさんぽみち

東京都世田谷区

金森 廉

大仏もきつと聞いてるうぐいすを

東京都渋谷区

本間 賛

うぐいすがきれいな声でよんでいる

東京都渋谷区

会沢さくら

遠足びよりの日に大仏をみましたよ

神奈川県横須賀市

中尾朋弘

きらきらとかがやく春の風の国

東京都大田区

長谷川采香

あたたかいかぜがふいたらはるがくる

東京都世田谷区

馬部遥香

(順不同)